

エキスパートからの アドバイス

今回、来校した消防署員の方々からの貴重なお話を紹介します。

- 今回は学校のみでの訓練なので、近所の方の協力や、ひがし幼稚園の子供の受け入れなど、地域を巻き込んでの訓練も取り入れてはいかがでしょうか。
- 事前打ち合わせ等も密にし、遺漏のない連携ができたと思います。
- コロナで思うような関わりが出来なかったからか、子供たちに緊張が見られたので、引き続き訓練等で指導を行っていただければと思います。また、若い職員にも、指導することの難しさを経験させることが出来ますので、今後ともよろしくお願いいたします。
- 楽しみながら、活発に授業を受けていただき、嬉しく思います。
- 自分を守る力を身に付けるきっかけとなればと思います。

来月は、火災想定避難訓練が11日(木)にあります。さらに連携を取り合い子供たちの安全を心掛けていきます。

命を守る行動を身に付けよう



遠藤君男署員と5・6年生



小野寺祥太署員と2年生



千葉真紀子署員と3・4年生



小野大世署員と1年生

貴重なお話が聞けました

「エーッ、これなーに？」と1年生の声が続いてきます。10月7日(木)3校時に南三陸消防署から4名の消防署員をゲストティーチャーに迎え学年部毎の防災教室が行われました。1年生は校内にある消防施設等を見て回りました。普段目にして何か分からなかった表示や施設の説明を真剣に聞いていました。2年生は昨年度の復習として校内防火施設見学と校外にある防火施設の学習を行いました。3・4年生は、消防署の仕事や消防団の役割などの説明を聞き、災害時についての心構えを教えていただきました。5・6年生は災害に遭う前に、自分でできることや家でやるべき備えについて教えていただきました。いろいろなグッズを準備していただき、災害時に『必要な物は何か?』を選んでみるなど意外なものも役立つことを知る機会となりました。これらの取組は、平成29年11月に「入谷っ子少年消防クラブ」が発足してから毎年行われ5回目となります。『自分の命は自分で守る』という子供たちの防災意識を高めていきます。体験談を交えながら、実際に災害や事故、救急の現場で働いている署員の方の話は大人でも驚かされるエピソードがあり、子供たちにとって大変勉強となつていきます。毎回、忙しい中で準備と丁寧な説明や対応をしていただき、感謝しています。



いりごみ通信

第35号
発行元
入谷小CS推進
委員会編集部



ホームページ
へのQRコード

今年はいい米だよ

10月5日(火)10時より、秋晴れの中、5年生が総合的な学習の時間で取り組んでいる稲作体験の『稲刈り』を行いました。前週の雨で田んぼはぬかるんでおり、子供たちの力では手刈りが大変なことが考えられました。当日は、山内敏裕様をはじめとして6名の地域の皆様にお手伝いをいただきました。子供たちの長靴ではなかなか田んぼの中央までは入って行けず、畦から手前の方を刈り、お手伝いの方々に大分助けていただきました。「今年は、いい米だよ。」と敏裕様のお話をいただきました。



講師の方々
山内敏裕様
山内正俊様
山内正豊様
山内藤代子様
山内あき様



菅原文雄様
山内久吾様
佐藤貞美様
山内泰法様
武澤伊佐子様
西城哲郎様
佐藤隆雄様

伝統を 繋いで



令和3年度学芸会のオープニングを飾るのは地区の伝統芸能である「入谷打囃子」です。10月16日(土)8時40分より入谷小学校体育館で見事に披露されました。一昨年度末から続くコロナ禍の中も地域の方々の指導に支えられながら年10回の学習機会が続けられてきました。昨年度に続き、今年度も発表する機会が限られていますが、入谷のよさを伝えていく大事な活動となっています。見事に舞い演じました子供たちに大きな拍手が送られました。これも4日前の児童公開日にも駆けつけていただき、子供たちを支えていただいた講師の方々の情熱に感謝いたします。これからもこの伝統を繋げていくことを目指していきます。



毛羽取り機で繭を仕上げます



きれいにそろった繭

「さあー、毛羽取りだよ。」養蚕体験の指導をしていただいてる山内正男様より声を掛けられ4年生の児童が、9月29日(水)の朝に繭の毛羽取り作業を行いました。4年生の子供たちは、9月9日(木)に蚕の幼虫が来てから3週間、餌やりや寝床の掃除などの世話を一生懸命にしました。一週間前に上族作業を行ってできた繭から毛羽を取る作業を、山内様に教えていただき、きれいな繭玉になりました。動かないと思った毛羽取り機も山内様が身近にあるものを利用して見事に動かし、時には「さすが。」と周囲の大人も唸らせる技術でした。この繭を山内様に預けて、繭細工ができるように加工していただきます。

きれいにできたね